



夢のつばさ♥プロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体によって進められている事業です。

夢のつばさプロジェクトでは、新型コロナ肺炎の感染拡大に伴い、2019年度末の春の交流会と2020年の夏キャンプが中止となりました。例年なら秋の交流会の企画が進むころですが、残念ながらやはり中止せざるを得ないと考えています。子どもたちとのキャンプでは、楽しいアクティビティも、寄り添っての語り合いも、まさに密集して密接にふれあい、声を掛け合う活動です。移動には長時間の新幹線などの利用も避けられず、楽しいおしゃべりのない食事もあり得ません。念入りに準備をして実施するにしても、万が一クラスターが発生するようなことがあれば、子どもたちが東北へ戻って、感染を広げることになります。そう考えると、この先もこれまでのような交流活動は、年単位で実施が難しくなるかもしれません。子どもたちからは、「夢のつばさの活動はどうなってしまうの」、「プロジェクトがなくなってみんなと会えなくなってしまうの」という問い合わせが届くようになりました。



スタッフたちは集団活動の休止に対応して、子どもたちと交流するための検討を始めました。大学生から子どもたちやご家庭へ送る新聞も、月2回に発行を増やすことにして、これまで行事報告が多かった内容から、大学生の日常や想いなどを中心に発信するスタイルに一新しました。次に、大学生と子どもがグループで手紙をやり取りする交換日記も始めることにしました。学生スタッフの『子どもたちとつながりたい、子どもの考えていること、今興味を持っていることが知りたい』、という純粋な思いを大切に、気を配ったほうがいいこと、ありがちなトラブル等を想定して、社会人スタッフとやり取りを繰り返しました。『日ごろ思うこと、気づいたこと、紹介したいこと、なんでもOK。でも誰かの悪口を書いたり、仲間はずれにするようなことはNG。根拠のないうわさ、情報については、軽々しく広めたりしないよう注意喚起』と、ルールを決めています。個人情報を守る配慮も確認しあっています。



さらに大学生たちから、インターネットを利用して子どもたちと交流したいという提案がありました。子どものインターネット使用に不安を持つ保護者もいらっしゃるのではないかとアンケートを行ったところ、中には、「スマホなどのゲームに普段からに時間を取られているが、それを助長しないか」、「危険な大人からの誘いを受けるようなサイトの使い方を知ってしまうのではないか」等、心配される方もありました。



すでに学校教育の中では、ICT（情報通信技術）利用が進みつつあります。コロナ自粛期間中、オンライン授業をすぐに始めた学校もありました。社会人スタッフは話し合いを重ね、『インターネットスキルに慣れ親しむことは、子どもにとっても有益であろう。気心が知れた仲間の中で、インターネットの活用の仕方、避けるべきこと、危険から自分を守ることを大学生と学び合える機会を持つことは、保護者の不安への対応ともなり、推奨できる』という結論に至りました。



大学生スタッフは早速、夢のつばさプロジェクトの参加者に限定した、インターネットのコミュニケーションシステムを使って、8月末にはオンライン交流会を実施しました。タブレット機器の貸し出しも準備し、今後、勉強会などの企画も始まります。夢のつばさプロジェクトにとっても、対面での活動ができない現状で、こうした活動が軌道に乗っていけば、子どもたちと、日常的に連絡を取り合えるという、大きなメリットが得られます。コロナによる難局をバネに、新しいツールを使った日常的な交流へと飛躍する機会にできるよう、取り組んでいきたいと思えます。

(夢のつばさ♥プロジェクト)

ご寄付のお願い

【口座】三井住友銀行 大塚支店(店番号227) 普通1284200

【名称】特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子 ※夢のつばさ♥プロジェクトの専用口座です。

ご寄付いただく際には、ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせください。

※恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください。

連絡先:事務担当 滝澤公子 TEL&FAX:03-5978-5362 E-mail:tsubasa@npo-ochanomizu.org